

氏名	古屋 顯一/ FURUYA Kenichi
所属・職名	短大 幼児保育学科 教授
連絡先	k.furuya@matsutan.ac.jp
担当科目	子どもと運動遊び、健康と運動 I・II、生涯スポーツ I・II など
学歴	筑波大学大学院 修士課程 体育研究科 修了
学位	体育学修士
主な経歴	信州大学教授経法学部、信州大学経法学部副学部長・評議員、信州大学経法学部特任教授、信州大学名誉教授、松本短期大学幼児保育学科教授、放送大学長野学習センター客員教授、長野県キャンプ協会副会長、PADIスクーバダイビングインストラクター、全日本スキー連盟指導員
研究分野	野外教育学
所属学会	日本体育学会、日本スキー学会
主な研究業績	
著書	<ol style="list-style-type: none"> 『生活と健康』共著、2016、山梨大学教育学部生活と健康編集委員会 『野外活動—その考え方と実際—』共著、2001、日本野外教育研究会編、杏林書院 『改定キャンプテキスト』共著、1999、日本野外教育研究会編、杏林書院 『野外教育情報①』共著、1997、財) 日本教育科学研究所 『スキーの指導』共著、1991、日本野外教育研究会編、杏林書院 『野外活動テキスト』共著、1988、日本野外教育研究会編、杏林書院
学術論文	<ol style="list-style-type: none"> 特集21世紀のスポーツを展望する『どこへ行く、スポーツ・スポーツ・レジャー』単著、2001、第49巻第1号、P42~45、体育科教育大修館書店 『Physiological Changeis in Pachinko Players;Beta-endorphin,Catecholamines,Immune System Substances and Heart Rate』共著、1999、APPLIDE HUMAN SCIENCE第18巻第2号 『保母養成校の体育実技に関する研究』(Ⅲ) 21世紀に向けた保育者の教材開発「レクリエーション指導法」授業のもたらす効果、共著、1998、松本短期大学研究紀要第7号 『生涯スポーツの振興に向けての試み—体育専門学群と体育センターの交流の促進を—』共著、1987、筑波大学体育センター大学体育研究第9号
その他	<ol style="list-style-type: none"> 『森林資源の高度活用に関する一考察』単著、1994、長野県林業大学校研究報告書 『国際人育成のための教育プログラムの展開』単著、1990、日本フットボール研究報告書Ⅱ 『国際人育成のための教育プログラムの開発』単著、1989、日本フットボール研究報告書Ⅰ